

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1171700303		
法人名	(株)ウェルフェアクリエイション		
事業所名	ソレアード鴻巣		
所在地	埼玉県鴻巣市上谷141-1		
自己評価作成日	平成26年12月1日	評価結果市町村受理日	平成27年3月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター		
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号		
訪問調査日	平成27年1月17日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の尊厳を守り、ソレアードの理念にあるように暖かく安らぎのあるケア、気づきのあるケアに取り組んでいます。ご利用者様お一人お一人が生き生きとした時間を過ごしていただけるよう心がけています。1年を通して様々なイベントを計画し、全ご利用者様には大活躍していただいております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・毎年恒例の門松やお節づくり、職員の打つ蕎麦を食べ、新年を迎えられるなど、季節の移ろいを感じながらの暮らしを始め、納涼祭や運動会など、利用者を主体としたイベントが企画され、利用者が明るく笑顔で、生き生きとした日々を過ごされるよう、職員全員でケアに取り組まれている。
- ・ご家族のアンケートでも、「職員の方の言葉遣いや応対がよい。柔軟に対応してくれる」、「病院にも連れて行って下さり、その後の対処も有難く思っております」などのコメントが寄せられ、職員の皆さんの支援や対応について、高い評価が得られている。
- ・目標達成計画の達成状況については、運営推進会議の定期開催や家族にカンファレンスへの参加を要請されるなど改善への取り組みが行われていることから、目標が達成されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念をスタッフルームに掲示し実践するよう努力している	職員全員で創られた年次行動目標のもと、利用者が明るい笑顔で、和やかに日々過ごされるよう気配りされた利用者本位のサービスが実践されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩で地域の方々と挨拶を交わしている	散歩など外出の際には地域の方々と挨拶を交わされたり、納涼祭などの事業所催事に地域の方々を招き、一緒に楽しんでいる。また、地域の敬老会や初詣に出かけるなど、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう取り組まれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で地域の方々に支援の取り組みを説明している。散歩での立ち話でもさせていただいている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議参加者の方のご意見を参考にして、全体会議で発表し、職員に伝えサービス向上に活かしている	定期的に開催され、事業所からの報告のほか、参加者からも防火対策や地域の散歩コースなど、意見や情報提供が行われ、事業所運営やサービス向上に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月の広報を介護保険課に持参している。又、連絡を取り、相談し協力関係を築いている	申請手続きや報告・相談の機会ほか、市主催の介護サービス事業所管理者会議時などでコミュニケーションを図られている。また、運営推進会議でもアドバイスを頂くなど、良好な協力関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が理解して実行している	法人全体でのリーダー研修や事業所の全体会議で身体拘束に関する理解を深める勉強会が行われ、言葉での拘束を含め、身体拘束をしないケアに取り組まれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修の機会学び、日ごろから注意を払っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修で学び理解に努めている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族からの質問に適切に答え、理解を得ている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見、要望は、随時伺い、運営に活かすようにしている	利用者については日頃の関わりの中で、家族とは面会時に意見・要望を聴き取られている。その意見や要望は職員間で話し合い、事業所運営やサービス向上に反映されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議、日常業務中などに意見、提案を聞き業務向上に役立てている	全体会議やリーダー会議時などで意見・提案の聴き取りをされている。また、各種委員会が組織されるなど、発言し易い環境がつけられ、活発に意見・提案が行われ、外出企画や食事づくりなどに具現化されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修の機会を設け向上心をもって働けるよう努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の機会学び、日ごろから注意を払っているケアの実践方法を職員で作製し、全職員に伝え実行するように進めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者と交流する機会を設けサービス向上に取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の要望をコミュニケーションを取りながら応えるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安、要望をしっかり受け止めたうえで信頼関係を築いている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、ご本人の気持ちを把握し、優先順位をきめ支援している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	四季折々の話題等何気ない会話を大切にコミュニケーションをはかり、暮らしを共にする同士の関係としてとらえている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に日常の様子を説明し、ご本人により良いケアの方法を共に考え実行するようこころがけている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	どなたからの電話も支障がない限り取り次ぎ、面会にきていただいている	知人・友人の面会やサークル仲間との交流、手紙のやり取りや電話の取り次ぎ、馴染みの店での買物、家族の協力を得て葬儀出席や旅行に出かけるなど、これまでの関係が途切れないよう支援をされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション等一緒に行動することで、お互い一つの和となり支え合えるようつとめている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も必要に応じて相談支援に応じている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話の中で希望を伺いできる限り希望に添えるよう努めている。困難な方にはご本人と接しながら良い方向を検討している	利用者との信頼関係を大切に、寄り添うことで、思いや意向を把握されている。意思疎通が困難な利用者についても言葉や表情・仕草などから汲み取り、利用者本位に検討されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴、病歴等を書類やご本人との会話の中で把握するようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	声かけの中での反応、ご様子や訴えなどにより把握するようにしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族とのカンファレンス、職員間でのカンファレンスの実行で多くの意見、アイデアをご本人本位に検討し作成している	利用者とは日頃の関わりの中で、家族からは面会やカンファレンス時に思いや意向を聴きとり、医師・看護師の意見を含め、関係する職員全員で意見交換を行ない、その人らしさを大切に、現状に即した介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、申し送りノートの記入、引継ぎ時の申し送りの際情報を共有し活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々変化する状態に柔軟に対応し支援している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の神社への散歩や歩道の整備された散歩、公園等を利用し四季の移ろいを実感していただいている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診、往診の際、日頃の様子体調の変化等細かく説明し支援している	入居時に利用者や家族の希望を尊重し、医療機関の選択をしていただいている。専門医等かかりつけ医の受診支援も適宜行われ、医師への必要な利用者情報の提供を行ない、適切な診療が受けられるよう支援がなされている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常生活の中で、些細な身体状況の変化でも看護師へ報告し適切な対応がとれるよう支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の看護師、SWとの連絡を密にし早期退院できるようにしている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族と話し合い意向をくみ取り関係者と情報を共有しチーム一体となって取り組んでいる	利用者の症状に合わせ、家族から共同生活終末期契約書の同意をいただき、早い段階から出来る限りの支援体制を整えている。また、リーダー会議で定期的に看取りについての研修も行なわれるなど、体制を整備され、看取り支援に取り組まれている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急の受講や統括看護師による緊急時の対応の研修を随時うけている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間避難訓練も実施し、近隣の方への協力をお願いしている	定期訓練では職員の勤務体制が手薄となる夜間時の火災発生を想定し、初期消火・通報・シーツに包んで非常口まで搬送する避難方法など、限られた職員数で訓練に取り組まれている。また、救急救命講習の受講や備蓄品の整備など、体制整備に取り組まれている。	災害対策には十分取り組まれているが、高齢の利用者をあずかる事業所として、継続的な訓練の実施は不可欠であり、火災のほか、更に地震や風水害などを含めた継続的な訓練の実施を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	丁寧な言葉づかいと思いやりを忘れない声かけを行っている	居室への入室時やトイレ介助時の声かけとノックの励行など、利用者の人格を尊重した対応、排泄や入浴時の羞恥心に対する配慮などきめ細かな取り組みが行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、常に声かけし自己決定を尊重しケアさせていただいている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の気持ちを第一に優先し希望に沿って支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分でできない方には、好みの洋服をスタッフが把握し用意している。爪切り、髭剃りなど気をつけて支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りには、話題を食材にしたり出来上がりを楽しんでいただけるような雰囲気作りをしている。片付けは、出来る方にはお願いし職員と協力しておこなっている	利用者個々の力に合わせ、下拵えや調理、後片付けなど、職員と共に行っている。散歩に出かけた際に頂戴した袖子をジャムにしたり、年越し蕎麦やお節づくり、定期的な外食など、食の楽しみを大切にした取り組みが行われている。また、家族向けに献立表を送付し、事業所の食事への取り組みを伝えられている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取は、量を確認し不足がちな方には、水分摂取していただけるよう工夫を凝らしている。栄養も実施献立表を確認しながら、バランスを考慮して調理している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、自立のかたには声かけし、介助が必要な方には、衛生士のアドバイスを参考に個別に口腔ケアを実施している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表にてトイレ誘導の時間を見計たり、ご本人の落ち着いた様子が見られた時等にトイレ誘導をし排泄を促している。必要に応じてトイレにての腹部マッサージを実施している	出来るだけトイレでの排泄を心がけ、一人ひとりの力や排泄パターン・習慣を把握して、適宜、声かけを行い、トイレでの排泄など自立にむけた支援をされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給、繊維質の多い食事の提供や、体操と食前に“の”の字腹部マッサージを実行している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望によって、曜日や順番を変更し希望にそうようしている	入浴日と時間は設定されているが、できる範囲で利用者の希望に沿った支援をされている。年末年始には併設サービスの大浴場とデイルームを活用し、カラオケやかるたに興じるなど、温泉気分を楽しまれている。また、利用者個々の状態に合わせ、職員複数での介助をするなど、安全対策に努められている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温、湿度の管理を密に実施している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋により理解するようにしている。変化を見逃さないよう様子観察をおこなっている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩、パズル、作品作り、掃除等役割を持っていただき、楽しみながら生活していたけるよう努力している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	食事や買い物などできる限り希望に添えるよう支援している	事業所周辺での散歩や買物、図書館に出かけられるなど利用者個々の希望に沿った支援をされている。定期的な外食や公園散策、季節毎の花見など、外出の機会が多く持たれ、日常とは違う時間を楽しまれ、リフレッシュされている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	季節の変わり目に、衣服の購入を予算内で好きなものを選んで頂いている。少額のお小遣いで月々買い物をしている方もいる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人自ら電話をされたり、かかってきた電話には、ゆっくり会話できるよう気配りしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロア内には、ご利用者様の作品を展示、扉にも季節感のあるご利用者様の作品を飾っている。又季節感のある花を花瓶に活けている	俳句や書道作品、生け花など季節感のある飾り付けされているほか、ソファが置かれ、ゆっくり過ごせるよう工夫をされている。また、利用者にとって不快や混乱を起こさぬよう、温度や湿度・採光や居室表示など、きめ細かな配慮がとられている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを設置してくつろいでいただける場所を用意している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持参の家具、写真等ご本人が心和む物を置いている	家族の写真や仏壇、好みの絵画や書籍などが持ち込まれ、利用者が居心地良く過ごされるよう工夫されている。また、毎朝掃除の時間が設けられ、共用スペースを含め清潔維持と衛生管理に努められている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	壁の手すりや車いす、杖歩行の方も安全に移動されている。洗面台も明るい照明、鏡で口腔ケアもスムーズにできる		

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名:ソレアド鴻巣

作成日:平成 27年 3月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年2回消防署の協力を得て避難訓練を実施しているが、火災のほか、地震、風、水害を含めた訓練は未実施である。	継続的に訓練を実施する。	昼食前の口腔体操のあとに防災頭巾を被る訓練をする。	1ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。